

第69回 日本不整脈心電学会学術大会

心電図アカデミー 1

日常臨床に携わるメディカルプロフェッショナル(臨床検査技師・看護師)、研修医の方を対象とした教育講座です。

全体テーマ

心電図所見から読み解く症例や疾患の背景 -心電図の重要性を再発見しよう-

座長 庭野 慎一 先生 北里大学医学部 循環器内科学

演題 1

検査室やモニターで見逃したくない心電図

演者 小松 隆 先生 公益財団法人 岩手県予防医学協会 心臓内科

演題 2

症例から見る心電図検査のパワーと醍醐味 (Part2)

演者 池主 雅臣 先生 新潟大学医学部保健学科・大学院保健学研究科

日時 2023年 7月 8日(土)
9:50 ~ 12:10 (20分休憩あり)

会場 札幌コンベンションセンター
第3会場 (1階)
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

定員 380名 (シアター形式)
※先着順、定員に達し次第締め切らせていただきます

- 申込について**
- ◎ 受講にあたっては、第69回日本不整脈心電学会学術大会の参加費が必要です。大会ホームページよりお申し込みください。
 - ◎ キャンセル待ちはございません。受講希望の方は必ずお申し込みください。
 - ◎ 原則返金はできません。お申し込みの図解を熟読の上、お手続きください。

- 付記**
- ◎本セミナーにより更新単位(10単位)が取得できます。
 - ◎受講証明書の配布はありません。会場前の受講受付で入場・退場時に【来場二次元コード】を読み取り、単位登録いたします。
 - ◎遅刻および早退は単位認定できません。
 - ◎テキストは開催当日、上記二次元コード読み取り後にお渡しいたします。

<お申込み・詳細はこちらから>



第69回日本不整脈心電学会学術大会
ホームページ

<https://www.ace-enterprise.net/jhrs2023/education/>

座長の言葉

皆様にご好評をいただいている本セミナーは、本年から心電図アカデミーと名称を変えました。心電図という検査は、すでに古いという印象や、他の検査ツールが急速に発展する循環器疾患分野において限定的な情報しか得られない、といった理解をされている方もおられるかもしれません。しかし、心電図は初期から確立された形式を踏襲しているからこそ、時系列的に過去のデータと対比することが出来るという優れた特性を持ちます。また、急性に進行する疾患、例えば急性虚血のリアルタイムの評価が出来るのも心電図だけです。こと不整脈に関しては最初であり最終的な診断ツールであり続けており、その限界とともに利点やポイントを知ることは極めて重要です。今回は、昨年大変人気の高かったお二人の講師をお招きしました。小松先生には不整脈を中心に、臨床最前線で着目してほしい心電図について解説していただきます。池主先生には、心電図所見に着目することで、その背景にある心疾患や変化を見通すダイナミズムについてご講演いただきます。必ずや、皆様の臨床での活動に役立つ充実した内容となると思いますので、是非ともご聴講ください。

座長

庭野 慎一 先生 (北里大学医学部 循環器内科学)

演題 1 検査室やモニターで見逃したくない心電図

演者 小松 隆 先生 公益財団法人 岩手県予防医学協会 心臓内科

演題要旨

ライデン大学(オランダ)のWillem Einthovenが「心電図法の発明」により、1924年にノーベル生理・医学賞を受賞してから、既に100年近く経過している。医療機器や診断学の急速な進歩が普及する本邦において、標準12誘導心電図検査もデジタル波形表記、自動診断化、演算による波形構成化などの独自の進化を遂げたが、むしろ伝統的な診断機器と見なされがちである。しかし、標準12誘導心電図の判読には個々の波形成分における形状の情報、目線を横軸に向ける時間的情報や縦軸に向ける空間的情報を把握すべく解析のコツがある。また、心電図検査は

心疾患患者における初診時の基本情報となるのみでなく、その他検査と組み合わせることでより総合的診断が可能となる。

標準12誘導心電図は得意とする頻脈・徐脈の各種不整脈疾患やWPW症候群、ブルガーダ症候群、J波症候群、QT短縮・延長症候群などのプライマリー不整脈疾患のみならず、特発性ならびに2次性心筋症、電解質異常などのスクリーニング検査としても有用であり、本セミナーではその心電図判読法の極意について実例を提示しながら紹介したい。本セミナーで習得した標準12誘導心電図の判読法が、今後の日常診療に役立てれば幸いである。

演題 2 症例から見る心電図検査のパワーと醍醐味 (Part 2)

演者 池主 雅臣 先生 新潟大学医学部保健学科・大学院保健学研究科

演題要旨

医療工学技術の発展によって日常臨床に新しい診断治療機器が次々導入されています。心電図検査も、診断の自動化、デジタル波形保存、演算での波形構成が標準化して、実波形を検査室・診察室で確認する事は以前ほど重要視されなくなったようにも思えます。しかし心電図の目視確認が診断の決め手となる症例は現在も少なからず経験されます。セミナーでは講演者がこれまでの診療で印象深く

記憶している心電図を提示供覧いたします(調律を解く、見えるもの・見えないもの、治療における再分極修飾の功罪などを提示予定)。心電図検査のパワーと面白さを共感いただけましたら幸いです。皆さんと一緒に考える心電図クイズを織り込んで、日常診療目線でお話しさせて頂きたいと思います。

お問合せ先

■参加登録および JHRS 認定心電図専門士資格について

第 69 回日本不整脈心電学会学術大会運営事務局
(株式会社 ACE エンタープライズ内)
E-mail : jhrs2023@ace-enterprise.net

■セミナー内容に関して

日本光電工業株式会社・心電図アカデミー 1 係
E-mail : nk-seminar02@db.nkc.co.jp

※心電図アカデミー 2 につきましては、以下にお問合せください。
フクダ電子株式会社・心電図アカデミー 2 係
E-mail : fsemi@fukuda.co.jp / TEL : 0120-155-737